

やる気に満ち、笑顔あふれる河江小

保護者・地域とともに創り上げていく学校をめざして

令和6年度
第2号

R6. 7. 19

文責 校長 廣瀬武史

夏休みが始まります。 子供たちの見守りよろしくお願ひします。



4月のスタートから、予定通りの教育活動を展開することができました。子供たちも、毎日元気に学校に登校し、様々な場面でキラリと光る頑張りを見せてくれました。学校運営協議会の皆様をはじめ、地域の方々や学校に来校された方々から、「あいさつがとてよくなった」「落ち着いて勉強してますね」「先生方の雰囲気がとてもよく、活気がありますね」等、たくさんのお褒めの言葉をいただき、大変うれしく思っているところです。ただ、学校は集団生活をするので様々なトラブルが発生しますし、下校してから、また、休みの日などにちょっとした問題行動を起こし、近隣の方から苦情の電話がかかってくることも少なくありません。その都度先生方は真摯に対応し、子供たちへの指導を繰り返しています。今後も根気強く指導を続け、人として「正しく生きる」力を身に付けさせていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し、温かいご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。明日から、長い夏休みに入ります。子供たちには「命の危険があるような行動をしないでください。死なないでください。」と話をしています。「他人に迷惑をかけない」ことも含め、ご家庭での声かけ、遊んでいる子供たちへの声かけを今後もよろしくお願ひいたします。子供たちにとってうるさいおじちゃん、おばちゃん大歓迎です。

5月からの出来事

5/25(土)運動会

晴天に恵まれ、今年も素晴らしい運動会を開催することができました。午前中半日の開催ですが、子供たちが主役の運動会だったと思います。最上級生の6年生を中心に、練習の時から一人一人がとてもよく頑張りました。学校近辺の皆様には、放送などでご迷惑をおかけしました。今後ご理解とご協力よろしくお願ひします。

6/4(火)～5年生米作り体験

J A青壮年部の方々の指導の下、6月4日に種籾をまき、7月4日に田植えをしました。19日には、かかし作りも行いました。秋の収穫に向けて、夏休み中、せめて田んぼの様子は観察してほしいと思います。

6/11(火)～13日(木)体カテスト

全学年で実施しました。学校体育の研究指定を受けていますので結果が気になります…。が、結果を分析し、今後とも体力向上に向けて頑張っていきます。

6/18(火)第1回読み聞かせ

今年度も保護者、地域の方々の協力を得ながら実施していきます。今年は、民生委員の方々にも協力していただけることになり、7月18日の第2回目から入ってもらっています。

6月21日(金)引き渡し訓練

大雨を想定した引き渡し訓練を実施しました。全員を保護者に引き渡すことができ、とてもいい訓練ができたと思います。この訓練は、学校職員と保護者の訓練です。いざというときのために、連絡方法を含め、よりよい方法を模索していきたいと考えています。

6/24(月)第1回クラブ活動

今年度から、地域の方々をはじめ、外部の方を講師としてお招きし実施しました。雨天のため、グラウンドゴルフは昔遊びに変更しましたが、それぞれのクラブで「本物に触れる学び」ができていたようでした。

7/4(木)授業参観・学級懇談、第2回学校運営協議会

人権学習または道徳の授業の様子を見ていただきました。豊かな心を育成するための学習を積み重ねています。

7/9(火)水俣に学ぶ肥後っ子教室

県内5年生の児童全員が、学校ごとに必ず実施している事業です。水俣病に関する「正しい知識」を身に付け、差別・偏見をなくす、また伝えていくことを学びました。大人もぜひ訪れてほしい場所です。

その他

漢字大会、計算大会を2回実施しました。今年は頑張ったクラスを表彰しています。漢字習得、計算力は、向上心を持ち練習すれば必ず伸びます。日頃の勉強や宿題ではどういう気持ちでやっていますか？ 夏休みは実力アップに最適です。「やる気」を出して頑張ってみましょう。

研究発表会に向けて

6月19日(水)に、2年生：体つくりの運動遊び、3年生：プレルボール(バレーボール型ゲーム)、6年生：バスケットボールの研究授業を行いました。準備運動を工夫する、めあてを持って活動する、みんなと話し合いながら活動する、何を学んだか・できるようになったかを確認する、などの活動が定着してきました。これからも、子供たちが満足し笑顔で楽しむ授業づくりを続けていきます。

ルールを守る

学校のルールや規則は何のためにあるのでしょうか。「学校の先生が児童生徒を縛り付けるため」という誤解があるように感じています。学校は集団生活をするところです。「自分勝手な行動を慎み、みんなが気持ちよく、安全に、楽しく、思い思いをせずに生活するため」にあると考えます。私たち大人が、一番のお手本となって、自信を持って間違いを正す指導ができたらと思います。